

「古墳から^み見る犬山の生い立ち」 ～青塚古墳・東之宮古墳など郷土の歴史を学び、未来の犬山へ！～

止まることのない時の流れの中で、人々はその時々節目をつくってきました。
令和元年。新たな節目にあたって、犬山の将来のあるべき姿を歴史から模索していく必要もあるのではないのでしょうか。

イギリスの歴史学者 アーノルド・J・トインビー (1889年～1975年) は、「自国の歴史を忘れた民族は滅びる」と言っています。

犬山の将来のあるべき姿を考える際に、まずは、我々が今住んでいる郷土「犬山」がどのような生い立ちで形成されたかという歴史も学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

今回、犬山の歴史を学び、犬山の生い立ちの一片について古墳をとおして想いを馳せ、犬山の将来のあるべき姿を模索していく上での一歩としていただきたいと存じます。

日時 令和元年度 **9月26日** (木) 16:00～17:45

(受付: 2階多目的研修室前 15:30～)

場所 犬山国際観光センター「フロイデ」2階多目的研修室

講師 特定非営利活動法人 古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク
理事長 赤塚次郎氏

演題 「古墳から^み見る犬山の生い立ち」

～青塚古墳・東之宮古墳など郷土の歴史を学び、未来の犬山へ！～

参加費 無料

定員 約80名 (9月20日までにお申し込みください)

お問合せ 犬山商工会議所 総務課 (担当: 伊藤)

TEL 0568-62-5233 FAX 0568-61-3986

その他 本記念講演会は会議所会員事業所対象の講演会ですが、広く一般市民のみなさまにも聴いていただきたく、ご案内させていただきました。

特定非営利活動法人 古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク 理事長 赤塚次郎氏



考古学者。1954年愛知県犬山市生まれ。1979年奈良教育大学教育学部卒業。弥生および古墳時代の研究を行う。邪馬台国に唯一反旗を翻した「狗奴国(くなくく)」が濃尾平野にあったという考えを提唱し、注目を集める。

愛知県教育サービスセンター埋蔵文化財調査部主事、愛知県埋蔵文化財センター調査課長、副センター長、橿原考古学研究所共同研究員、奈良県桜井市纏向学研究センター共同研究員、愛知県史編纂考古執筆委員を歴任し、特定非営利活動法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワークを設立、名古屋経済大学犬山学研究センター客員教授としても活躍。専門は日本考古学、文化遺産学。

主な著作に『幻の王国・狗奴国を旅する』(風媒社、平成21年)、『尾張・三河の古墳と古代社会』(同成社、平成24年)、『邪馬台国時代の東海の王 東之宮古墳』(新泉社、平成30年)などがある。

(FAX: 0568-61-3986)

犬山商工会議所 7部会合同記念講演会申込書

犬山商工会議所 行

令和元年 月 日

氏名

住所

TEL

FAX